



ラグビーのラインアウトを体験する児童ら

ラインアウト高い

西白山台小 ラグビー体験

八学大指導

八戸

ラグビーのワールドカップ（W杯）が日本で開催される中、八戸学院大学ラグビー部は11日、八戸市の西白山台小学校でラグビー教

室を行った。3年生29人が参加し、ラグビーボールのパスやタックルなどを体験した。

同部の山下祐史ヘッドコーチが講師を務めた。児童はサポート役のラグビー

部員6人からアドバイスを受け、グループに分かれてパス回しゲームに挑戦。部員に持ち上げてもらってボールをキャッチする「ラインアウト」も体験し、児童たちは「すごく高い」などと歓声を上げ楽しんでいった。

ラグビー教室後の道徳の授業で、山下ヘッドコーチは「ラグビーには『One For All、All For One』という精神がある。一人一人が思いやりの心を持って、一つの目標に向かって頑張っている」と語り掛けた。

ラグビーW杯をテレビで応援しているという古里柚葉さん（9）は「ラインアウトで高く上げてもらって楽しかった。日本代表にもっと勝ち進んでほしいです」と笑顔で話した。

（工藤俊介）